

《記入例》

様式第4号(第7条関係) 簡易な収入額の申立書 (申請者本人用) 【公的年金給付等受給者】

【A】は令和2年中に養育費を受け取っている場合のみ記入してください。

【B】は令和2年分の源泉徴収票や令和3年度の税額決定通知書に記載のある、令和2年中の「収入額」を記載してください。添付書類については課税情報により把握可能なため不要です。

【C】に該当する収入がある方のみ、記入してください。添付書類については課税情報により把握可能なため不要です。

【D】がある方は、必ず年金額がわかる書類を添付してください。

- 「子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）申請書（請求書）」と一緒に提出ください。
- 申請者の生活を経済的に支えている扶養義務者などの方がいる場合は、その方の前々年の年間収入額も勘案して支給を決定しますので、「簡易な収入額の申立書（扶養義務者等用）」も併せて提出ください。
- 下記にある③の【要件】を満たす場合に支給の対象となります。

①申請者の前々年（令和2年1月～令和2年12月）の年間収入の内訳をご記入ください。		
※年間の額をご記入ください。		
	金額	注意事項
養育費【A】	1 0 0 0 0 0 円	※養育費を受け取っている場合にご記入ください。
給与収入【B】	5 0 0 0 0 0 円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※ 課税証明書 などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入【C】	1 0 0 0 0 0 円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※ 帳簿 などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金相当収入【D】 (a-b)	8 1 7 0 0 0 円	※「年金収入【a】－児童扶養手当相当額【b】」で計算した額をご記入ください。
年金収入【a】	1 0 0 0 0 0 円	※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族に対して支給されるものも含まれます。 ※ 年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書 などの支給額がわかる書類をご提出ください。
児童扶養手当相当額【b】	1 8 3 0 0 0 円	※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等を有する場合、児童扶養手当相当額早見表を確認いただき、該当する金額をご記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

※児童扶養手当相当額早見表（年額）

令和2年12月31日時点での児童数	支給額（年額）	※参考（月額）
児童0人	0円	0円
児童1人	121,920円	10,160円
児童2人	183,000円	15,250円
児童3人	219,600円	18,300円
児童4人	256,200円	21,350円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに36,600円（年額）を加算してください。

②前々年（令和2年1月～令和2年12月）の年間収入の合計額をご記入ください。	
年間収入額 (A+B+C+D)	1 5 1 7 0 0 0 円

※①の太枠の収入額の合計額をご記入ください。

（次ページに続きます。）

③要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。

属性	<input checked="" type="checkbox"/> 父母	<input type="checkbox"/> 父母以外の養育者
----	--	-----------------------------------

↓

収入基準 A

以下のいずれかに該当する児童の養育者ですか。

- ・ 父が死亡または生死不明かつ母がない児童
- ・ 母が死亡または生死不明かつ父がない児童
- ・ 母がなく、かつ、父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ・ 母が婚姻によらないで懐胎した児童であって、母が死亡したもの又は母の生死が明らかでないもの
- ・ 父がなく、かつ母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ・ 父母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ・ 母が婚姻によらないで懐胎した児童に該当するかどうか明らかでない児童

NO → YES

(2) 申請者が生計を同じくし養っている親族（児童含む）または養っている親族以外の児童（令和2年12月31時点で扶養を行っている者）の氏名をご記入ください。【☆】

収入基準 A の方			収入基準 B の方		
フリガナ 氏名	該当する場合は◎または○		フリガナ 氏名	該当する場合は○	
	16歳以上23歳未満の親族 (◎)	70歳以上の親族、配偶者 (○)		70歳以上（配偶者以外）の親族	
1 スイタ ジロウ 吹田 二郎	◎		1		
2 スイタ ハナコ 吹田 花子			2		
3			3		
4			4		
5			5		

(3) (2) でご記入いただいた方的人数にチェックをしてください。

(2) の人数にチェックしてください。		基準額	(2) の人数にチェックしてください。		基準額
人数	基準額	人数	基準額		
<input checked="" type="checkbox"/> 0人	3,114,000円	<input type="checkbox"/> 0人	3,725,000円		
<input type="checkbox"/> 1人	3,650,000円	<input type="checkbox"/> 1人	4,200,000円		
<input checked="" type="checkbox"/> 2人	4,125,000円	<input type="checkbox"/> 2人	4,675,000円		
<input type="checkbox"/> 3人	4,600,000円	<input type="checkbox"/> 3人	5,150,000円		
<input type="checkbox"/> 4人	5,075,000円	<input type="checkbox"/> 4人	5,625,000円		
<input type="checkbox"/> 5人	5,550,000円	<input type="checkbox"/> 5人	6,100,000円		
<input type="checkbox"/> 人	円	<input type="checkbox"/> 人	円		

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

(4) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

i (3) で選択した基準額	4,125,000円	i (3) で選択した基準額	円
ii (2) の◎の数×150,000円	150,000円	ii (2) の○の数×60,000円	円
iii (2) の○の数×100,000円	0円	(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
収入基準額 (i + ii + iii)	4,275,000円	収入基準額 (i + ii)	円
年間収入額 (表面の②)	1,517,000円	年間収入額 (表面の②)	円

→【要件】②の年間収入額が収入基準額を下回っていること。

※【要件】を満たさない場合でも、「簡易な所得額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。

【確認事項】 (各項目のチェック欄 (□) に『✓』を入れて頂き、氏名をご記入ください。)

- 【要件】に該当しています。
- 収入額が分かる書類 (課税証明書や年金額改定通知書等) を提出しています。
- 本申立の内容に相違ありません。

令和●年 ●月 ●日

申請者氏名 _____ 吹田 太郎

令和3年度の税申告で扶養親族として申請している方の名前を記載してください。

(2) に記入した人数の横にチェックを入れてください。

i : (3) でチェックを入れた基準額を記入してください。

ii・iii : (2) の◎、○の数からそれぞれ記入してください。

表面の②に記入した額を記入してください。

各項目チェックの上、自署で記入してください。